

会 議 概 要

[会 議 名] 第 2 回 府中市官製談合再発防止対策検討委員会

[日 時] 令和 2 年 8 月 3 1 日 (月) 午後 3 時 0 0 分 ~ 午後 3 時 2 4 分

[場 所] 府中市役所 庁議室

[出 席 者] < 委 員 長 > 副市長

< 副委員長 > 副市長、教育長

< 委 員 > 政策総務部長、行政管理部長、教育部長

< 作業部会長 > 政策課長

< 事 務 局 > 政策総務部職員課

(職員課長、職員課長補佐、人事係長、人事係主任)

行政管理部契約課

(契約課長)

[欠 席 者] < 委 員 > 都市整備部長

[議 題]

(1) 行政課題の抽出について (経過報告)

(2) その他

議 事 要 旨

(事務局) (第1回検討委員会以降の進捗について報告)

議題1 行政課題の抽出について

(作業部会長) (作業部会での検討経過を報告)

大きく3点の行政課題が挙げられ、そのうち「より公平・公正な契約制度の確立」については、現時点で検討が可能であると考えられることから行政課題として抽出し、その他の「個人・組織におけるコンプライアンスの更なる徹底」、「利害関係者との関わりのルール化と透明性の確保」については、公判等の事実関係を確認しながら課題の検証・抽出を進めていきたい。

(事務局) (欠席者から事前に預かっていた意見について報告)

実施可能な具体的取組はできる限り早急に取り組み、速やかに公表していく必要がある。その上で、取組実施に伴う第三者の評価・検証においては公正かつ迅速に結論を示すことができる個又は組織となるよう配慮する必要があると考える。また、入札談合はあらゆる調達物件で起こり得ることから、工事に限定することなく広く対象を捉えて検証していく必要がある。

(委員) 今後具体的取組を実施する段階で第三者機関の設置が想定されているが、作業部会の中で意見はなかったか。

(作業部会長) 作業部会では行政課題の抽出を目的に議論をしており、具体的取組の手法である第三者機関についての議論は行っていない。

(委員) 「より公平・公正な契約制度の確立」という課題の対応時期について、現時点で対応可能とあるが、事実関係を踏まえた検討も行う必要があると思う。

(委員長) 作業部会からスピード感を持って進めるべきとの報告があったが、契約制度については先行して検証を進められると思う。

報告のとおり、「より公平・公正な契約制度の確立」の課題については先行して検討に入り、その他の課題については、公判等の進捗状況を確認しながら課題抽出を行うということによろしいか。

(全員異議なし)

(委員長) 作業部会の報告で、「より公平・公正な契約制度の確立」について、その検討対象を契約全般と捉えるか入札制度に絞って検討するかとの議論があったが、本委員会の目的は官製談合の再発防止であり、官製談合のおそれのある契約行為は入札に限らないため、契約制度全般を対象として検討すべきと考えるがいかがか。

(全員異議なし)

(委員長) 抽出された行政課題については、次回の委員会で改めて取組方針を検討することとし、その他の行政課題については、事実関係を踏まえた作業部会の検証を待つこととする。

議題2 その他

(事務局) (委員会の開催状況を公表すること、市民団体から市長に官製談合に係る質問状が提出されたこと、次回の検討委員会の開催日程について報告)

以上